

# 勢いを見せる場

アサヒ産業 石畠健二郎

No.53

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人のつながり」で紹介していきます。

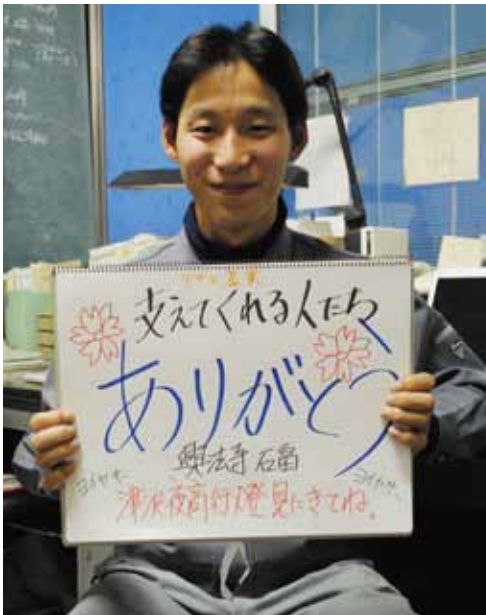


有限会社耕さんから紹介したのは、同じ興法寺のアサヒ産業の石畠健一郎さん。  
家の窓やドアなどアルミの仕事が中心。住宅エコポイントの関係で、断熱用の窓をつける仕事も増えている。



また、ガラスが割れたら直したり、鍵をなくしたら直したりと、お客様の要望に丁寧に応える。「この辺り大きな家が多いでしょ。昔は木で雪囲いをしていたが、高齢化が進みアルミの雪囲いを作り一年中そのままにしている方が増えている。」アルミのよさは、軽い、耐久性、錆びない、加工がしやすい事。

アルミは電気の塊だといわれる。富山県は、立山連峰の豊かな水資源があり、安定した電力を供給できることがアルミ産業



そんな石畠さんは、津沢の夜高行燈に熱い！「行燈が好きだとか嫌いだとかということじゃなくて、生まれた時から当然作って出して参加するもんだと思ってる。」とキッパリ。  
津沢の夜高行燈は、前もつてこの町内と喧嘩をやるという事は決まっていない。順番や回数も



「新築の物件が減った分リフォームの需要がある。ただ、地元の業者や大工さんが仕事を請けないと地元のメーカーに仕事が行かない。なんとかしたいですね。」  
「古い建物に合わせて作り、お客様に『いいがなうた』って言われるのがうれしい。これが仕事のやりがいです。」

決まっていない。それも魅力の一つ。  
ただ、集客は課題。すべての町内で団結して考えていかなければならない。「ただ、『おらが町内』『うちらは、うちら』そういう思いはある。」  
それも行燈の魅力かもしれない。  
行燈を本格的に作り始めるのは高校卒業して青年会のメンバーとなったから。  
「大変やなと言われるけど、盆正月より行燈！」  
津沢の大行燈は、現在7機。  
「大行燈を一度なくしたら二度とでんぞ」という気持ちで、青年会の垣根を越えてでも何とかして残したいと思ってる。」  
若いもんが熱くなれる場所それが行燈。  
また、獅子舞が3月にあり、3・4・5月はまるつきり在所で毎晩毎晩集まることになる。獅子舞して行燈して...  
津沢の団結力が高いのは頷ける。  
だんだん若者が減ってきている。「そんなもん」

「やらんなんもんや」という考え方が変わってきているのは寂しい。」  
「青年会を卒業しても協力していかんなんと思っけど、若いもんは甘えさせないで。」  
ローカルな津沢の行燈だけ、興法寺の勢いを見せる場。おらが町内！  
今年の行燈は、沢山の方に見てほしいですね。最後の喧嘩まで見届けたい。」



アルミ建材加工販売  
**アサヒ産業**  
〒932-0127  
富山県小矢部市興法寺22  
電話：0766-61-3485  
FAX：0766-61-4050

ここに生まれ育ってるから、これが当たり前になつている。それが本当の文化。  
「津沢でなんか飲むとかという時は行燈の話。」  
年開けたら「おまんのとこ作りはじめたんか」という会話があいさつ代わりになる。  
「津沢でなんか飲むとかという時は行燈の話。」  
年開けたら「おまんのとこ作りはじめたんか」という会話があいさつ代わりになる。

## 津沢夜高あんどん

毎年6月第1金・土曜日

Oyabe Local Shopで夜高関連グッズご紹介してます！



誇れるべき文化が津沢にあるんだと実感した。



店長の一言